

# 最首悟さん追悼セミナー

## 『介護と支援を続ける根拠』

～最首悟さんを偲んで inあざみ野～

**介** 護保険制度が始まったとき、相模原でのあのひどい事件が起きたとき、私たちは、最首悟さんをお呼びして、その話に耳を傾けました。「困っちゃうよねえ」が口ぐせでしたが、時には「それには同意できない」と断定されることもありました。障害者支援はもちろん、老人介護にも多大な影響を与えた最首さんを偲んでセミナーを企画しました。親交が長く、星子さんの通った事業所に関わってこられた鈴木さん、最首さんの話を聞いて「正義感で介護をしない」をモットーにした小林さんのふたりに声をかけました。最首さんの[深さ]を少しでも引き継げればと思います。



呼びかけ人 三好春樹

### 最首悟さん

和光大名誉教授・生物学者・社会学者・思想家。1936年生まれ。2026年2月8日に亡くなりました。著書に重度複合障害をもつ三女星子さんとの日々を綴った『星子が居る』（世織書房）や、2016年に起きた「やまゆり園事件」の植松死刑囚への手紙をまとめた『いのちの言の葉』（春秋社）など多数。

2026年6月7日（日） 13:40～16:40 受付13:15～

会場

アートフォーラムあざみ野 2階セミナールーム

（東急田園都市線・横浜市営地下鉄「あざみ野駅」徒歩5分）

参加費

2,000円（会場にて現金払い）

先着80名！

問い合わせ先

老いと生活を考える読書会 ⇨ 77nanabunko@gmail.com

- ◆主催◆ 生活とりハビリ研究所
- ◆共催◆ 老いと生活を考える読書会  
<https://www.facebook.com/oi.to.seikatsu> →
- ◆後援◆ 円窓社/一般社団法人 考える杖



【最首悟さん追悼セミナー】

- ①お名前
- ②職種・所属など
- ③お住まい（市区町村まで）
- ④懇親会への参加 有・無  
以上をメールしてください！

# Program

- 13:40～14:25 45分 三好春樹 「倫理観でも、契約でもなく」
- 14:25～15:10 45分 小林敏志 「マイナスからゼロへ」  
～介護するつもりが、実は介護されている～
- << 休憩 >> ☕
- 15:20～16:05 45分 鈴木励滋 「ザッゼンに生きる」
- 16:05～16:40 35分 鼎談 「三好 × 小林 × 鈴木」

★ 講師を囲んだ  
17:15～19:15 懇親交流会<sup>(希望者)</sup>

¥4,000 (飲み放題)  
アジア小皿酒家 茉莉 (あざみ野駅前)

## 三好春樹 Haruki Miyoshi



生活とリハビリ研究所代表。1950年広島県呉市生まれ。PT。  
介護の世界に迷い込んで半世紀！今なお執筆活動や全国講演行脚で「介護とは何か？」その本質を伝え、介護現場のみならず絶大な影響を与え続けている。一般社団法人考える杖の代表理事。  
著書に『関係障害論』『認知症介護』（ともに円窓社）、『完全図解 新しい介護』『実用介護事典』（ともに講談社）など多数。

## 老人介護界のユーカコス

## 介護現場の実践的研究者

## Satoshi Kobayashi 小林敏志

合同会社「はいこんちょ」代表。1983年長野県栄村生まれ。介護福祉士。  
栃木県鹿沼市でデイサービス（宅老所）と小規模有料老人ホームを運営。本人を主役にしたその人らしい生活を最期まで送れるように、介護したりされたりの日々。ピック病介護の第一人者。家族は妻と息子が3人。7年前、主宰する勉強会「かいごの会合5周年記念セミナー」に最首悟氏を招き、虐待について考える集いを開催。



## 鈴木励滋 Reiji Suzuki

## 旧態福祉デストロイヤー



1973年群馬県高崎市生まれ。障害福祉従事者/演劇ライター。  
1997年～2024年まで生活介護事業所「カプカプ」所長を務め、最首悟さんや三女星子さんと関わる。演劇ライターとしての実績を積みながら、障害福祉事業所でのアーティストによるワークショップのコーディネーターなどでも活躍。  
町田市山崎団地に新しい場「喫茶ひゃくねず」を開いた。 →



今がチャンス！

会員さんへ

三好春樹からの  
プレゼント

一般社団法人 **考える杖** に入ろう！  
考える杖会員は今回のセミナーを **無料** で受講できます。  
当日受付時に会員証の提示要。（後ほどの返金はできません）

考える杖の入会申込みはこちら → <https://x.gd/SGSPo>